

CHUO ハラスメント防止啓発 × Diversity Week 2019

12/6 金 - 12/14 土

2019年はメインテーマの「障害」を中心に様々なイベントを揃えました。多様な私たちがともに安全・安心に過ごせるキャンパスを一緒に描きましょう！

12/6 金

静岡県立大学国際関係学部教授

石川 准氏 講演会

「障害者のパラダイムシフト

——障害者権利条約の実施と監視の枠組みを中心に」

15:10～16:50

多摩1号館 1406号室

対象：本学生徒・学生・教職員 申し込み不要

【講師紹介】

富山県生まれ。1987年、東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。現在、内閣府障害者政策委員会委員長、国連障害者権利委員会副委員長、AHEAD JAPAN 代表理事。視覚障害者支援工学の開発でも精力的に活動。著書として『アイデンティティ・ゲーム』『見えないものと見えるもの』ほか多数。

FD推進委員会
共催

12/6 金

遠藤 まめた氏 講演会

「多様な性がありまえる場を作る」

司会：総合政策学部 高野さやか准教授

講演 | 13:20～15:00 多摩8号館 8302教室

ワーク | 15:10～16:50 多摩3号館 3260教室

対象：一般参加可 申し込み不要 途中参加可

【講師紹介】

LGBT ユースの居場所にじーず代表。著書に『先生と親のためのLGBTガイド』ほか。

12/10 火

映画「福田敬子 女子柔道のパイオニア」

上映会+トーク

司会：文学部 英文専攻の学生有志

17:00～18:40 多摩3号館 3114教室

対象：一般参加可 申し込み不要

柔道家の福田敬子は、『世界を変えた50人の女性アスリートたち』の一人です。前回の東京オリンピックで型を披露し、米国に渡り、柔道の国際的普及に尽力しました。ジェンダーとスポーツについて一緒に考えましょう。

12/13 金

国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科教員、NHK手話ニュース845キャスター

木村 晴美氏 講演会

「ポストろう文化宣言時代を読み解く
——ろう者としてろう者らしく生きる社会と多様性」

15:10～16:50 多摩7号館 7104教室

対象：本学生徒・学生・教職員 申し込み不要

【講師紹介】

山口県生まれ。2014年、一橋大学大学院言語社会研究科博士課程単位取得退学。1995年、市田泰弘と「ろう文化宣言」を発表。現在、学校法人明晴学園理事。著書として『日本手話とろう文化』『ろう者の世界』『手話通訳者になろう』ほか多数。

12/7 土

文学部4年 青野 鷹哉氏 講演会

「ヨット競技と私」

司会：理工学部 諸妻俊司准教授

青野氏×諸妻准教授によるミニ対談「障害と技術」

13:30～14:20 後楽園5号館 5135号室

対象：一般参加可 申し込み不要

【講師紹介】

愛媛県松山市出身。2014年4月文学部入学。セーリング競技で中高と活躍。本学1年次に旅行先の海辺で頸髄を損傷し、車いす生活となる。その後、学業とセーリングの両立を再開し、昨年10月障害者セーリング国際大会「2018 ハンザクラスワールド&インターナショナルチャンピオンシップ」で3位入賞。大けがから見事カムバックした。

12/11 水

ハラスメント防止啓発講習会

「犯罪被害防止講習会

——デートDV、ストーカー、痴漢、性犯罪にあわないために——」

12:35～13:15 多摩3号館 3206教室

対象：一般参加可 申し込み不要

昼食持参可 途中退出可

12/14 土

中央大学 連続公開講座

「LGBTとこども・若者

未来へつなぐために何ができるのか」

15:00～17:30 後楽園5号館 5133号室

対象：一般参加可 申し込み不要

杉田 真衣氏（首都大学東京）

藤 めぐみ氏（一般社団法人レインボーフォスターケア代表理事）

こども・若者に焦点を当て、LGBTと「社会的養護」のテーマを探ります。社会全体に何が問いかけていのか、共に考えましょう。

12/9 月

映画「えんとこの歌

～寝たきり歌人・遠藤滋～」

上映会

司会：文学部 大田美和教授

午前の部 | 9:00～10:40 多摩3号館 3354教室

午後の部 | 13:20～15:00 多摩3号館 3106教室

対象：一般参加可 申し込み不要

主人公の遠藤滋は監督の大学時代以来の友人で、脳性マヒのため寝たきり生活35年。自ら「えんとこ」を組織し、介助者たちの力を借りて自立して生きています。生きるとはどういうことかと問いつける映画、見に来て下さい。

12/6 金 - 12/14 土

書籍展示

多摩キャンパス 中央図書館にて、関連書籍を展示いたします。

ポスター展示

多摩キャンパス 中央図書館1階ホールにて、関連ポスターを展示いたします。

中大生協企画

・書籍売り場での関連書籍の特集・販売（多摩キャンパス）・学生食堂での関連特別メニューの販売

12/9,10,12,13 昼休み

ステージパフォーマンス

「STOP ハラスメント」の趣旨に賛同してくれた学生団体による 多摩 中央ステージでのパフォーマンス。



詳細はHPでもご覧いただけます。

行 動 す る 知 性。

中央大学





橋本 基弘

中央大学 常任理事
ダイバーシティ推進委員会 委員長

大学=university は人の集まりを指すラテン語 universitas に由来する。元来大学とは多様な人間が集う組織であった。そこでは、様々な人間が集い、自由に学び、教える空間が保障されていなければならなかった。その意味で多様性は、大学の中心にある理念であって、大学が実現すべき価値そのものでもある。

中央大学は、2017年にダイバーシティ宣言を公にし、2019年からはダイバーシティ推進委員会を設置して、大学や社会における多様性の実現に向けた取り組みを始めている。中央大学の構成員は、だれもが尊厳を保障され、自分自身であることを妨げられないだけでなく、一歩進んで、そのような価値を社会全体に発信し、その実現に寄与する役割を担いたいと思う。

中央大学ダイバーシティ宣言

1. 学びは、良き生き方を探し実現するうえで、たいへん大切なものです。人びとには学びたいという気持ちがあります。学んだことを生かして良き生き方を実現したいと願っています。そうしたなかで、これからの社会は、どんな背景をもつ人に対しても、学びのための平等な機会を提供できなければなりません。大学を始めとする教育機関は、良き生き方を実現するための学びの機会を提供するための最も重要な場です。それゆえそれらの教育機関は、障害、病歴、経済状況、家庭環境、性別、性自認、性的指向、年齢、国籍、人種、言語、信念、宗教などによって、学びの機会が損なわれることがないような環境を整えなければなりません。
2. 私たち中央大学は、豊かな感性と人間力を備え、高度な専門性をもって国際社会に貢献できる人材の育成に取り組んでまいりました。いま私たちは、すべての人びとに学びの機会が平等に開かれることの重要性を認識しています。そして、私たちとともに学びたいという希望を持つすべての人びとが差別なく集い、のびのびと学ぶことのできる学修環境を提供します。すべての人びとが相互に認め合い、力を高め合える学修環境を提供します。さらに私たちは、多様な人びとが教育と研究のためにともに働く職場環境づくりをめざします。
3. そのために私たちは、以下の取組を進めていきます。
 - 第一に、障害、病歴、経済状況、家庭環境、性別、性自認、性的指向、年齢、国籍、人種、言語、信念、宗教など、多様な背景をもつ人びとが、ともに学び、ともに働くことのできる環境をつくります。
 - 第二に、ともに学ぶ人びとが個人の能力を最大限に発揮できる職場環境をつくり、またワーク・ライフ・バランスの実現をめざします。
 - 第三に、障害のある本学構成員に対する合理的配慮を推進し、さらに社会的障壁の除去に対する理解の醸成をすすめます。
 - 第四に、あらゆる人びとの人権を尊重し、偏見にもとづく差別や人権侵害が生じることのないようにします。私たちは、人類社会を構成する一員として、社会とともに、以上の取り組みを着実にすすめてまいります。